



山下 純 仙台市議会議員(宮城野区)
市政報告 vol.10
 発行：市民フォーラム仙台
 青葉区国分町 3-7-1
 編集：山下 純

市民フォーラム仙台

市政レポート

2025年
秋号

街の声を市政に届けました。

令和7年第3回定例会では、市民の方々から寄せられたお声をもとに、働き方や子育て、障害のある方の雇用について質問しました。

どのテーマも「現場の声を政策に生かす」視点で、市民一人ひとりの暮らしを支える取り組みにつなげ、これからも、みなさんの身近な声を市政に届けて、仙台をもっと暮らしやすい街にしていきたいと思います。

令和7年 第3回 定例会 主な議案

- **終活支援事業費 600万円**  議員提案で本年6月に提案した「今を大切に生きる就活支援条例」これを形にしていくために予算がつきました。
終活支援のため、終活に関する相談支援や周知広報等に要する経費を計上。
- **子どもの遊び環境の充実等に要する経費の追加 700万円**
西公園における屋内遊び場の整備に向け、埋蔵文化財確認調査に要する経費を追加。
- **出産育児支援金事業費 2億4,700万円**
子育て世帯の経済的負担を軽減するため、出産育児支援金の支給に要する経費を計上。
※これまでに加えて出産費用1人9万円増額
- **初期救急医療体制確保事業費 4,700万円**
長期連休となる今年度の年末年始において適切に初期救急医療を提供できるよう、休日夜間診療所の体制を強化するとともに、関係団体等との連携による患者受入体制の拡充に要する経費を計上。
- **公共交通活性化推進に要する経費の追加 3億7,700万円**
新たな学生フリーパス制度の利用者見込み数増加への対応に要する経費を追加。

TOPIX

この市政報告では、質問内容と市の答弁を、わかりやすくまとめています。
 詳細は中面と裏面をご覧ください。

一般質問

-  フレックスタイム制の導入について
-  出生届のオンライン提出について
-  精神障害者の市内雇用について



一般質問の様子はインターネットでも閲覧ができます。
 上記のQRコードよりご覧いただけます。

R6年 決算予算審査委員会

-  自動集計システムの効果検証と今後のデジタル化について
-  小学校エアコン整備事業について
-  広聴相談事業年報について
-  消防団装備拡充整備と特別点検について

お問合せ

仙台市議会議員山下純事務所
 〒983-0838 仙台市宮城野区二の森2-20 T.022-766-8147 F.022-766-8189

一般質問

今回の定例会では、「働き方」「子育て」「障がい者雇用」をテーマに質問しました。

フレックスタイム制の導入については、市が他都市の事例を参考に実証実験も検討しており、多様な働き方を選べる市役所づくりへ前進しています。出生届のオンライン提出では、国のシステム連携後の導入を予定しており、子育て世代の負担軽減が期待されます。また、精神障がいのある方の雇用支援では、法定雇用率の引き上げに向けて短時間雇用や企業支援の拡充を進めるとの答弁がありました。

精神障害者の市内雇用について

一般質問

市内にお住まいの精神障害のある方から相談を受けました。その方は障害年金の対象外で一般就労しているが、収入が低く生活が苦しい状況でした。精神障害者の雇用や生活支援の現状を知る必要があると考え質問に至りました。

これを踏まえて 市に質問

- 市内の精神障害者の雇用状況や支援策はどうか
- 法定雇用率の引き上げに向けた企業への周知や支援の状況は？
- 生活支援や短時間雇用、在宅就労など多様な働き方の整備状況

この質問の POINT

- 精神障害者の手帳所持者数はこの10年で約 1.8倍に増加
- 平均勤続年数は 5 年 3 ヶ月、平均賃金は 14 万 9,000 円
- 2026 年 7 月から法定雇用率は 2.7% に引き上げ

この質問の ねらい

精神障害者の雇用には、企業の理解と行政の支援が欠かせません。柔軟な働き方を整え、安定した収入と生活支援を確保することが、本人の自立と社会参加につながります。

この質問への 市の回答

市長：精神障害者が希望や能力、心身状況に応じて働き続けられる環境整備が重要。短時間雇用促進など新たな支援も検討

総務局長：市役所内の障害者雇用数は 285 人（身体 219 人、知的 7 人、精神 59 人）。法定雇用率達成に向け、会計年度任用職員の採用やステップアップ制度を検討

健康福祉局長：精神障害者の手帳所持者数は増加傾向。就職件数は増加しているが就職率は低下。法定雇用率引き上げに向け、企業への周知・啓発や就労支援を強化



フレックスタイム制の導入について

一般質問

昨年の第 4 回定例会でフレックスタイム制導入を提案してから約 1 年。他都市の事例や課題は確認済みですが、仙台市での検討状況を知りたく質問しました。若年層の約 68% が余暇重視である調査結果から、職員募集やワークライフバランスにも影響すると考えています。

これを踏まえて 市に質問

- 仙台市でのフレックスタイム制導入の検討状況は？
- 他都市（富岡市、奈良市）の事例を参考に、まず一部での実証実験は可能か？

この質問の POINT

- フレックスタイム制は全員が使う制度ではなく、選択肢を増やすことが目的
- 若者にとって魅力的な働き方の実現
- 他都市では週休 3 日制や一部部署の拡大実績がある

この質問の ねらい

働き方の多様性を広げることで、優秀な学生や職員の確保につながります。まず実証実験として一部職員で試すことが可能であり、制度設計や市民対応との調整も重要です。

この質問への 市の回答

総務局長：職員の働き方の選択肢を広げることが重要。市民対応に支障がないよう配慮しつつ、先行事例を調査し、制度設計・導入に向けた実証実験なども検討中



出生届のオンライン提出について

一般質問

親友に第一子が誕生したことをきっかけに、出生届提出などの手続きの負担について相談を受けました。ひとり親の方などは14日以内の申請が大変であるとの声もあり、オンライン対応による負担軽減の必要性を感じ質問に至りました。

これを踏まえて 市に質問

- 本市での出生届オンライン提出対応はなぜできていないのか？
- 先行自治体や国の動向を踏まえ、早期にオンライン対応できないか？

この質問の POINT

- 出生届・医療費助成・児童手当は全家庭で必須手続き
- オンライン化により、窓口に行かずスマホで申請可能
- 導入障壁は、自治体システムとの連携や職員の手入力

この質問の ねらい

手続きのデジタル化は、子育て世帯や働く家庭の負担軽減につながります。国では2026年度までに全国で導入予定ですが、仙台市も先行事例を参考に、早期に準備を進めることが望まれます。

この質問への 市の回答

市民局長：現段階では戸籍システムと連携しておらず、職員が手入力する必要がある。国のマイナポータル連携後にオンライン化を実施予定



一般質問の様子はインターネットでも閲覧ができます。
上記のQRコードよりご覧いただけます。

R6年決算審査委員会質問

今回の決算審査委員会では、現場の声を丁寧に受け止めながら、教職員や子育て世代、地域防災に直結するテーマで質問しました。市民一人ひとりの暮らしを支えるため、実際に現場で働く方々や利用者の立場に立った改善や検証を求める姿勢を重視しました。裏面にも決算審査委員会の質問がありますので、ぜひ、ご覧ください。

消防団装備拡充整備と特別点検について

消防局

本市消防団は7つの分団で構成され、地域防災の中核を担っています。団員として活動する中で、資機材の整備や管理、特別点検の運営に関する課題を実感。特に紙ベースの点検報告や、団員が自主的に用意した機材の扱い、暑さ対策など、現場の実態を踏まえ市としての対応を確認しました。

これを踏まえて 市に質問

- 消防団資機材の整備内容と管理方法、点検報告のデジタル化は可能か
- 団員が自主的に準備した機材の取り扱い方針はどうなっているか
- 特別点検の開催時期や運営、暑さ対策、安全管理の現状は？

この質問の POINT

- 消防団活動を支える装備品の充実と管理の効率化
- 団員の安全と現場の実態に即した運営
- 特別点検の実施方法や暑さ対策を含む安全管理の必要性

この質問の ねらい

消防団員が安全かつ効果的に活動できる環境を整えるため、資機材の充実や管理方法の改善、特別点検の安全運営を確認。現場の声を反映し、今後の整備強化や運営改善に活かすことを提案しました。



R6年決算審査委員会質問

広聴相談事業年報について

市民局

市民の声をどう受け止め、どう活かしているのかが見える「広聴相談事業年報」。令和4年度は例年より2,700件以上相談が増えました。その背景や対応の実態を確認し、あわせて職員への負担やメンタル面の課題にも着目しました。

これを踏まえて 市に質問

- 相談件数の増減要因と、市の分析は？
- 相談対応の流れや平均回答期間は？
- 職員を守るためのカスタマーハラスメント対策は？



この質問の POINT

- 市民対応の質をどう維持しているか
- 全国的に課題となるカスハラへの備え
- 札幌市のように録音やポスター掲示、対応マニュアル導入を仙台でも検討すべき

この質問の ねらい

市民の声を丁寧に受け止めながらも、職員が心身を守られた環境で働けるよう、他都市の先進事例を参考に仙台でも実効的なカスハラ対策を進めることを提案しました。

自動集計システムの効果検証と今後のデジタル化について

教育局

教職員の多忙化を軽減する目的で導入された自動集計システムは、運用から3年、年間約1,400万円の費用がかかっています。現場で本当に役立っているか、保護者にとって使いやすいかを確認し、効果検証と改善策を市に求めました。

これを踏まえて 市に質問

- 導入目的に対して、どの程度の効果が出ているのか
- 教職員・保護者が使いやすい仕組みになっているか
- 今後、個人情報を含む業務も含めたデジタル化は進められるか

この質問の POINT

- 教職員の「働きやすさ」を支える仕組みの検証
- 安全で効率的なデジタル化への転換
- 現場の声を反映した改善の必要性



この質問の ねらい

システム導入が現場の助けになっているか、保護者も安心して利用できるかを確認し、今後は個人情報を扱う業務も含め安全なデジタル化を進め、先生が子どもと向き合う時間を増やす環境整備を求めました。

学校エアコン整備事業について

教育局

普通教室や体育館のエアコン整備は進む一方、夏休み中の工事遅れや仮設エアコンの対応など現場課題も見られました。また、断熱工事による光熱費削減や将来の更新コスト低減の実証実験も実施。学校施設を投票所や避難所として活用する際の利便性や安全性も含め、市としての整備方針や総括状況を確認しました。

これを踏まえて 市に質問

- 普通教室・体育館の整備状況や費用・総括、断熱工事の効果
- 投票所や避難所としての学校施設活用時の教職員負担や安全管理
- 全市的展開に向けた課題や今後の整備方針

この質問の POINT

- 工事遅延や仮設対応など現場課題の整理
- 光熱費削減や更新費用抑制を見据えた設備計画
- 投票所・避難所としての利便性や安全性の確保

この質問の ねらい

学校施設のエアコン整備を、教職員や利用者の負担を最小化しつつ、安全・効率的に進めるための現状確認と改善策を求め、蓄積した知見を活かした着実な事業推進を提案しました。